



■企画・制作：日光道中400年の歴史をたどるプロジェクト実行委員会
■発行：越谷市住まい・まちづくり協議会 会長 若色欣爾（090-4619-8722）
■協賛：足立成和信用金庫、ポラスグループ株式会社中央住宅
株式会社マルヨシ、有限会社釘清商店

紅蓮寺通達寺分給
親父行樂
中屋五郎右衛門
實山
金
山
大相續不進分
野田宗康光三郎
大相續不進分

雲
 東
 井
 石
 泉
 茶
 所
 竹
 樓
 十
 六
 堂
 丁

御茶樓外
 山休休所
 茶色香
 竹樓
 十六堂
 丁

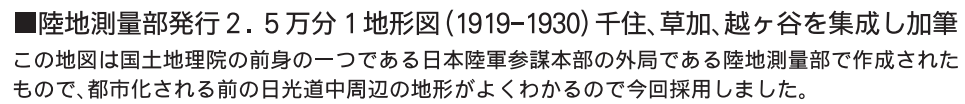
[illegible]

江戸 宿場

問屋場（といやば）とは、江戸時代に宿場町に置かれた、人馬の継立や荷物運搬、飛脚業務などを行う場所です。日光道にもこのような問屋場が各客場にありました。

葛飾北斎 富嶽三十六景 アダチ飯面より抜粋

関原の里とは、現在の千住・中村から千住関原町付近を示し、江戸時代には風光明媚な土地として知られていました。戦国が過ぎ去る土手は捕鯊堀（ゆめづみ）と呼ばれ、江戸時代には千住大橋の建設でこの地帯の発展に寄与した石田屋亮吉南が作ったとされています。現在の葛飾通りとしてその形跡を残しています。



現在の横(下)は昭和2年(1927)に築り替えられたブレストン・タイプという近代型牧場、歴史的な土産物として注目されています。	浄土宗福山勝林院源光寺と号する僧、南無三尊(1598)この地に住み、開拓した元徳部亮吉高により、同15年(1610)一族の菩提寺として開かれ、	元禄8年(1665)に問屋敷が設けられ、ここで人馬の手配をしました。また、寛政3年(1743)に貫貞改所が設けられ、	新井兵衛政勝が開基となり、勝勝寺(阿久根)を創設しして文元元年(1760)に開創、江戸時代には日光大社に準じて僧尼の御所となりました。未



